

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区

農・水産・環境の一体的な取り組みにより安全安心な食の生産基盤を確立して、3つのエリアが相互に連携を図り、食の生産性と付加価値の向上による国際競争力の強化を先駆的に推進する。その成果の活用により、北海道全体のポテンシャルの極大化を図り、ひいては我が国の食産業が東アジアの海外需要を発掘することに貢献する。

全道へ

フード・イノベーションエリア

《加工食品・機能性食品・医薬品の研究開発と製品化支援機能の集積と人材育成—食の知の拠点》

札幌地区（札幌市・江別市等）

- 北大（農学部、創成研究機構等）、酪農学園大、北海道情報大、北海道総合研究機構（食品加工研究センター、工業試験場）
- ノーステック財団 等

地域活性化特区の活用

フードバレーとかち

・イノベーションエリア

《食・農・環境の一体的取り組みによる農業を核とした高度なイノベーション支援機能等の集積拠点》

帯広・十勝地区

- 帯広畜産大、農業・食品産業技術総合研究機構（北海道農業研究センター）、北海道総合研究機構（十勝農業試験場、畜産試験場）、道立十勝圏地域食品加工技術センター、十勝圏振興機構、等

函館マリンバイオ

・イノベーションエリア

《水産資源の持続的供給や食品加工・機能性物質の研究開発と製品化・事業化支援機能の集積拠点》

函館地区

- 北大（水産学部、北方生物圏フィールド科学センター等）、公立はこだて未来大学、函館工業高等専門学校
- 北海道総合研究機構（函館水産試験場）
- 道立工業技術センター、函館地域産業振興財団、函館国際水産・海洋都市推進機構 等

食の生産性向上
食の付加価値向上
国際競争力強化

全国へ

東アジアの
海外需要発掘